新聞販売店に掲示された新聞を食い入るように見る人たち（12日、仙台市）

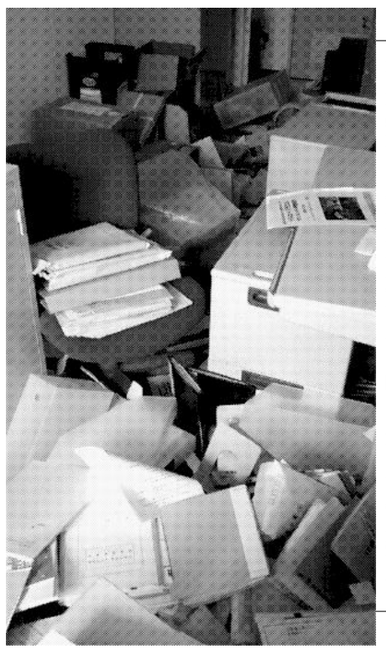
伊藤忠エネクスホームライフ東北。仙台市の応援要請に備えて既に避難所提供設備をトラックに積み込み済み（12日、仙台市宮城野区）

東日本大震災

負けるな!! がんばれ!!

情報はラジオだけ。NHK仙台放送局の屋外で見れるテレビには人だかり（12日、仙台市）

供給不安が続くオートガス。仙台市の仙台オートガスでは、1台当たり30リットルに制限して充填している（16日）


石油化学新聞社仙台支局（仙台市青葉区）。大きな打撃を受けた

12日、仙台港近くの路上

キリンビールの工場から津波で流された缶ビールが路上に散乱（12日、仙台港近く）

【撮影＝仙台支局・菅原久記者】

復旧・支援／ともに生きる

企業・団体 対応ドキュメント

◎伊丹産業がタンクローリー2台支援＝伊丹産業は、アストモスエネルギー関西支店の要請を受け、LPガスタンクローリー9・2ト、8・8トン各1台を東日本大震災支援のために出動させた。タンクローリーは午前8時に同社専属の和光運輸から出発、午後6時にアストモスエネルギー受注センター・ビューティックローリー千葉営業所に到着した。

◎岩手、宮城、福島県協会が困難な状況＝LPガス協会によると、午前11時現在、被害が大きかった岩手、宮城、福島の各県協会と連絡が取れたが、3県内の通信が状況がつかめていない。一仙台空港（宮城県岩沼市）近くに3カ所程度の充填所があるが、いずれも水没した一といい、把握できていない情報はごくわずかで一安否確認もままならなかなか、LPガス設備の節約を呼びかける。「県内はそれほど被害がない」（船木和昭専務理事）が、県内で利用するLPガスの大部分が宮城、岩手など被災地周辺から供給されているため、「供給支障になる前に節約を訴え、痛みを分かち合いたい」（同）と考え。依頼文も。船木専務理事は「当面の生活には支障がない」とも。

◎岩手、宮城、福島県協会によると、15日午前の時点で県やLPガス協会本部からの応援要請は来ていないが、県役員には出動の心構えを依頼したという。

◎シナネン救援物資第1便＝シナネンは午前、救援物資を積んだ第1便、10トントラック2台を、神奈川から仙台と盛岡に向けて出発させた。

◎ミツウロコ、一部稼働停止＝ミツウロコは、東日本大震災による被害と対応状況を発表した。東北・関東地方の営業拠点で、グループ従業員の人的被害はない。商品や備品が転倒したほか、建物や設備で軽微な損傷があり、一部の拠点で稼働を停止した。横浜駅西口で営業するボウリング場「ハマボール」で、天井が崩落し来客4人が負傷した。

◎仙台市が容器充填要請、エネクスHL東北に＝伊藤忠エネクスホームライフ東北が、仙台市から、5キログラム容器190本へのLPガス充填を要請された。仙台市が所有する5キログラム容器を避難所の煮炊きに活用している。同社は配送車両の軽油がひっ迫しており、1日に広島市で開く予定だった2011年パロマ方針説明会を中止した。

◎住生活グループ、一部店舗営業を停止＝住生活グループは、関東地方の一部拠点で、建物の被害などが発生したとして、安全確認ができるまで店舗の営業を停止すると発表した。現在営業している拠点も今後、原料調達・製品物流・計画停電の面で影響が出ることが懸念されるため、事態の推移を見極めながら対応していく。

◎クリナップ、いわき工場などが損壊＝クリナップは、福島県いわき市にあるグループ工場、その他東日本エリアの事業所の一部で、建物や設備の一部が損壊するなどの被害を受けているが、その詳細については、午前11時現在で調査中。

◎都市ガス復旧隊が現地着＝日本ガス協会の仙台ガス局に到着し、10セットの無料貸与する。ショールームなどの屋外広告灯の消灯、事業所の節電に努める方針。

■15日

◎エネ庁、LPガス民間備蓄の放出を個別に対応＝資源エネ庁が、輸入会社から申請があれば、LPガス安定供給確保のための放出に対応する。被災地の措置。

◎経済産発表、アストモス市川基地がプロパン放出＝経済産業省は、東日本大震災の被災地域にあるLPガス出荷基地に新状況（正午現在）を発表した。それによると、地震発生後に基地の2次基地に異常はない。アストモスエネルギー市川基地が17日午後3時からプロパンの出荷を開始し、ブタンは安全点検が終了次第、供給可能としている。

◎住生活グループ、支援物資寄付＝住生活グループは支援物資の寄付を決めた。グループのトステムで仮設ハウス用窓2千窓分、トステムビバで同カーテン2千窓分、INAXで水洗トイレ2千台、ニッタンで仮設ハウス用の住宅用火災報知器「けむタンちゃん」と地震保安灯「ゆれタンちゃん」各1千個、トステムビバで非常用ろうそく1万本、トイレットペーパー10万ロール、ペットボトル1万食分を寄付する。茨城県坂東市のメガソーラー発電施設で発電した電力の売電分について、相当金額を電力インフラ回復のための支援金として寄付する方針。L

グループは5億円の義援金を贈ることを決めた。技術者の派遣、支援物資の輸送も検討する。

◎日立アプライアンスなど、義援金3億円＝日立アプライアンスを含む日立製作所グループは総額3億円の義援金を送ることを決めた。

◎住生活グループ、支援物資寄付＝住生活グループは支援物資の寄付を決めた。グループのトステムで仮設ハウス用窓2千窓分、トステムビバで同カーテン2千窓分、INAXで水洗トイレ2千台、ニッタンで仮設ハウス用の住宅用火災報知器「けむタンちゃん」と地震保安灯「ゆれタンちゃん」各1千個、トステムビバで非常用ろうそく1万本、トイレットペーパー10万ロール、ペットボトル1万食分を寄付する。茨城県坂東市のメガソーラー発電施設で発電した電力の売電分について、相当金額を電力インフラ回復のための支援金として寄付する方針。L

■15日

◎エネ庁、LPガス民間備蓄の放出を個別に対応＝資源エネ庁が、輸入会社から申請があれば、LPガス安定供給確保のための放出に対応する。被災地の措置。

◎経済産発表、アストモス市川基地がプロパン放出＝経済産業省は、東日本大震災の被災地域にあるLPガス出荷基地に新状況（正午現在）を発表した。それによると、地震発生後に基地の2次基地に異常はない。アストモスエネルギー市川基地が17日午後3時からプロパンの出荷を開始し、ブタ